

製品名: DcR3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09848**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	32kDa

抗原情報

遺伝子名	TNFRSF6B
別名	TNFRSF6B; DCR3; TR6; Tumor necrosis factor receptor superfamily member 6B; Decoy receptor 3; DcR3; Decoy receptor for Fas ligand; M68
遺伝子 ID	8771.0
SwissProt ID	O95407
免疫原	抗血清はヒト TNFRSF6B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 251-300

背景

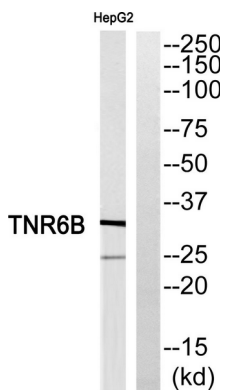
この遺伝子は、腫瘍壊死因子受容体スーパーファミリーに属します。コードされているタンパク質は、FasL および LIGHT を介した細

胞死の抑制において調節的な役割を果たしていると仮定されています。これは、リガンド結合をめぐってデスレセプターと競合するデコイ受容体として機能します。この遺伝子の過剰発現は、消化管腫瘍で確認されています。テロメア伸長ヘリカーゼ 1 (RTEL1) の調節因子をコードする隣接する上流遺伝子からこの遺伝子へのリードスルー転写により、非コード転写産物が生成されます。[RefSeq 提供、2011年2月]、代替製品: 追加のアイソフォームが存在するようです、機能: 不適切な相同組換えを抑制するために必要な ATP 依存性 DNA ヘリカーゼであり、それによって DNA 修復およびゲノム安定性の維持に中心的な役割を果たします。D ループ組換え中間体の分解を促進することにより、相同組換えに拮抗します。テロメア長の調節にも必要です。おそらく抗リコンビナーゼ機能によるものと考えられる。機能: 細胞傷害性リガンド TNFS14/LIGHT および TNFSF6/FASL のデコイ受容体。アポトーシスを阻害する。、その他: 胃腫瘍で増幅する。、類似性: ヘリカーゼファミリーに属する。RAD3/XPD サブファミリー。、類似性: ヘリカーゼ ATP 結合ドメインを1つ含む。、類似性: TNFR-Cys リピートを4つ含む。、組織特異性: 胎児の肺、脳、肝臓で検出される。成人の胃、脊髄、リンパ節、気管、脾臓、結腸、肺で検出される。結腸、胃、直腸、食道のいくつかの原発性腫瘍、および SW480 結腸癌細胞で高発現する。、

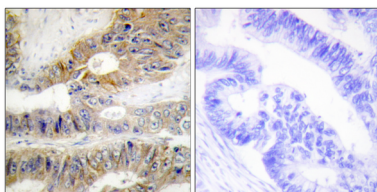
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;

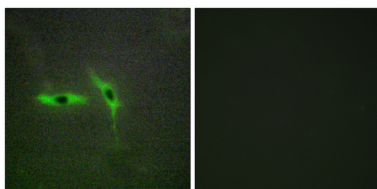
画像データ



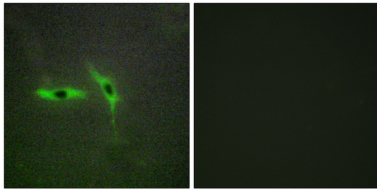
TNFRSF6B 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンが TNFRSF6B ペプチドでブロッキングされている。



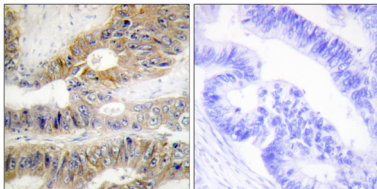
TNFRSF6B 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学染色。右レーンが TNFRSF6B ペプチドでブロッキングされている。



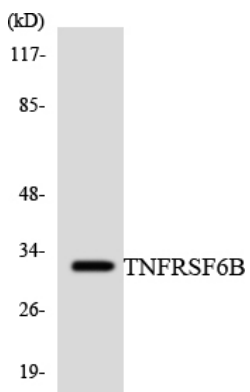
TNFRSF6B 抗体の免疫蛍光染色。右レーンが TNFRSF6B ペプチドでブロッキングされている。



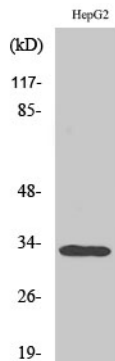
TNFRSF6B 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



TNFRSF6B 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



TNFRSF6B 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウエスタン ブロット分析。



DcR3 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタン ブロット分析。